

高知港長期構想検討委員会（第2回） 議事概要

分類	内容
高知港の将来像	<ul style="list-style-type: none"> ■ 長期構想の方向性について <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的取組として「短期・中期・長期」に何を実施するのか詳細に示した上で早期に実施できるものは対応していく必要がある。 ・ 20～30年後の物流・人流について、他県との連携が必要である。
物流	<ul style="list-style-type: none"> ■ 岸壁の増深について <ul style="list-style-type: none"> ・ 貨物船やコンテナ船の大型化に伴い、港湾利用者の視点に立った港の活用方法も考える必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 石灰石移出入について <ul style="list-style-type: none"> ・ 石灰石は県の輸出産業において重要な資源である。重要性を理解した上で長期・短期的観点を勘案する必要がある。
交流	<ul style="list-style-type: none"> ■ 賑わいについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客からのニーズに対応できる交通アクセス（小型旅客船等）の構想を考える必要がある。 ・ 賑い空間について具体的に進めていくうえで、人口減少社会の中での施設の維持、地域の理解や協議の場が必要である。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ クルーズについて <ul style="list-style-type: none"> ・ クルーズ客船の増大に向け、ソフト対策とハード対策との連携が重要である。
防災	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高知港の防災について <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災後の復旧・復興を迅速に行える港づくりにして欲しい。 ■ 人口減少と港湾について <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少の中でも、付加価値を見出し、輸出する新港の活用を示す必要がある。